

令和 年 月 日

株式会社 日本政策金融公庫 御中

住 所

商号又は名称

代 表 者 名

印

新型コロナウイルス感染症対策挑戦支援資本強化特別貸付 事業計画書

1 事業の概要、商品、サービスの特性

・当社は平成30年1月に代表取締役▲▲が創業したソフトウェア開発業。多様な人材をスポットで雇用したい個人事業主や中小企業と、自らのライフサイクルに合わせて柔軟に働きたいフリーランス人材をマッチングするアプリを開発し、平成30年4月にサービスをリリース。令和元年10月には、●●ベンチャーキャピタルより、5,000万円の出資を受け入れた。
 ・現在は、当アプリのアクティブユーザーである個人事業主や中小企業をターゲットにしたクラウドERPシステムを開発中である。

2 新型コロナウイルス感染症の影響

・「〇〇」リリース以降、雑誌や新聞などのメディアに多数取り上げられ、順調にユーザーを獲得。業況拡大局面にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業する事業所や採用を控える企業が増加し、労働市場が鈍化。アクティブユーザーは大幅に減少している。創業間もない弊社は、先行して広告費などを投入することでユーザーの獲得に注力してきたため、足元の資金繰りが急激に悪化している。

3 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の見込み

・新型コロナウイルス感染症の影響に対して、在宅勤務の推進や飲食デリバリーサービスの需要増大など、新たな生活様式が始まっている。こうした状況下では、採用数を伸ばしている業態もあるため、今まで以上に的確に労働市場を読み取り、新たな生活様式に適応した人材マッチングの推進を強化する。
 ・今回の資金は、向こう1年間の運転資金と、クラウドERPシステム開発資金として活用する。

4 事業の継続・発展を図るために必要な資金

必要な資金		金額	調達の方法	金額
運転資金	諸経費支払資金など (内訳)	4,500 万円	自己資金	万円
	人件費	2,000	日本政策金融公庫 国民生活事業からの借入	4,500 万円
	その他諸経費	1,000		
	ソフトウェア開発に伴う外注費	1,500	民間金融機関からの借入 (金融機関名:)	万円
設備資金	店舗改装、ソフトウェア購入など (内訳)	万円	ベンチャーキャピタル等からの出資 (出資先名:)	万円
	合 計	4,500 万円	合 計	4,500 万円

※融資決定前および融資後1年以内に状況確認のため公庫から取引金融機関に連絡させていただくことがありますので、取引金融機関に事前にご了解を得ておいてください。

(令和2年7月)

5 業績推移と今後の計画

(単位:万円)

	直近期末 (年 月期)	1年後 (年 月期)	2年後 (年 月期)	3年後 (年 月期)	4年後 (年 月期)	5年後 (年 月期)	6年後 (年 月期)	7年後 (年 月期)	8年後 (年 月期)	9年後 (年 月期)	10年後 (年 月期)	11年後 (年 月期)	12年後 (年 月期)	13年後 (年 月期)	14年後 (年 月期)	15年後 (年 月期)	16年後 (年 月期)	17年後 (年 月期)	18年後 (年 月期)	19年後 (年 月期)	20年後 (年 月期)	
売上高 ① (注1)	5,126 ()	5,200 ()	5,600 ()	6,000 ()	6,500 ()	7,000 ()	7,000 ()	7,000 ()	7,000 ()	7,000 ()	7,000 ()	9,000 ()	9,000 ()	9,000 ()	9,000 ()	9,000 ()	10,000 ()	10,000 ()	10,000 ()	10,000 ()	10,000 ()	
売上原価(仕入高) ② (うち減価償却費)	926 30	900 30	950 30	1,050 30	1,020 30	1,020 30	990 30	960 30	960 30	960 30	960 30	1,233 30	1,233 30	1,233 30	1,233 30	1,233 30	1,370 30	1,370 30	1,370 30	1,370 30	1,370 30	
売上総利益 ③ (①-②)	4,200	4,300	4,650	4,950	5,480	5,980	6,010	6,040	6,040	6,040	6,040	7,767	7,767	7,767	7,767	7,767	8,630	8,630	8,630	8,630	8,630	
経費	人件費	2,332	2,300	2,500	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	2,600	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
	家賃	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	360	
	減価償却費	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	
	その他経費	1,611	1,800	1,900	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
	合計 ④	4,333	4,490	4,790	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	4,990	5,390	5,390	5,390	5,390	5,390	6,090	6,090	6,090	6,090	6,090
営業利益 ⑤ (③-④)	-133	-190	-140	-40	490	990	1,020	1,050	1,050	1,050	1,050	2,377	2,377	2,377	2,377	2,377	2,540	2,540	2,540	2,540	2,540	
営業外収益 ⑥ (うち支払利息割引料)	30 8	30 10	30 12	30 12	30 50	30 30	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 60	30 80	30 80	30 80	30 80	30 80	
営業外費用 ⑦	40	40	50	150	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	210	250	250	250	250	250	
経常利益 ⑧ (⑤+⑥-⑦)	-143	-200	-160	-160	310	810	840	870	870	870	870	2,197	2,197	2,197	2,197	2,197	2,320	2,320	2,320	2,320	2,320	
減価償却前経常利益 (⑧+減価償却費)	-83	-140	-100	-100	370	870	900	930	930	930	930	2,257	2,257	2,257	2,257	2,257	2,380	2,380	2,380	2,380	2,380	
特別損益 ⑨	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
税引前当期純利益 ⑩ (⑧+⑨)	-143	-200	-160	-160	310	810	840	870	870	870	870	2,197	2,197	2,197	2,197	2,197	2,320	2,320	2,320	2,320	2,320	
法人税住民税及び事業税 ⑪ (⑩/2) (注2)	0	0	0	0	155	405	420	435	435	435	435	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	
税引後当期純利益 ⑫ (⑩-⑪)	-143	-200	-160	-160	155	405	420	435	435	435	435	1,099	1,099	1,099	1,099	1,099	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	
前期累計利益分 ⑬ (前期の⑫)	-	-143	-343	-503	-663	-508	-103	317	752	1,187	1,622	2,057	3,156	4,254	5,353	6,451	7,550	8,710	9,870	11,030	12,190	
次期累計利益分 ⑭ (⑫+⑬)	-143	-343	-503	-663	-508	-103	317	752	1,187	1,622	2,057	3,156	4,254	5,353	6,451	7,550	8,710	9,870	11,030	12,190	13,350	

資本性ローンによる調達予定額 (公庫)																						
ベンチャーキャピタル、民間金融機関からの 調達予定額																						

[注1] 複数の事業を行っている場合、()内には本資金にかかる事業について記入してください。

[注2] 税金の支払額を計上するものであり、税引前当期純利益がマイナスの場合は“0”としてください。

(公庫処理欄)																						

(令和2年7月)